

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫してる点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	☐		基準を満たしています。
	②	職員の配置数は適切である。	☐		子ども一人に対して職員の数を増やし、子どもたちがより安全に過ごせるようにしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	☐		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	☐		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	☐		定期的にMtgを行い、参加できない人にはノートや申し送りをして情報共有をしています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	☐		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	☐		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		☐	第三者による外部評価を行っていませんが、業務改善のため常に職員で話し合っています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	☐		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	☐		毎月施設が休みの日に職員で集まり、子どもたちの様子や課題を話し合っています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	☐		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	☐		

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	☐		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	☐		職員全員で話し合い、立案する機会を設けています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	☐		専用施設や職員間で話し合う機会を設けています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	☐		別の児童機関の関係者や専門の方からの情報収集して作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	☐		朝、子どもたちが来所する前にMtgを毎日行っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。		☐	支援終了後に全員で打ち合わせは出来ていませんが、次の日の朝礼で情報共有をしています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	☐		毎回その日の様子をより細かく記録し残せるようにしています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	☐		定期的に保護者の方と面談を行い支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	☐		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。		☐	障害支援センター以外の繋がりが持ててないので、機会を設けようと考えています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。		☐	支援センターや医療機関との連携はとれるが、その他の関係機関と連携をとれるようにしていく。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	☐		入所時にご両親から指示書を頂くようにしています。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	☐		
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	☐		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	☐		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。		☐	交流の機会が限られているためもう少しイベントなどで交流する機会を増やす。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。		○	参加出来ませんが参加できる機会を設けます。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	○		
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。	○		面談などで向上のためのお話をさせていただくようにしています。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	○		利用開始前に紙面や口頭にて説明しています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	○		面談などで計画書の見直しや作成を行い、内容をご説明して同意を頂いています。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	○		相談があった際、助言や出来る限りの支援をさせていただきます。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。		○	交流する場が今まで無かったため現在計画しています。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	○		保護者の方に配布する重要事項説明書に担当者を記載し、ご意見を頂いた時はすぐに情報共有しています。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	○		施設の様子や連絡事項が分かるようにお便りを定期的に作り、各家庭に配布しています。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している。	○		鍵をつけての保管や職員間でも話し合い徹底しています。
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	○		保護者の方とは連絡帳で情報伝達を行いお子さんとは絵カードやひらがな表など意思疎通しています。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	○		チラシなどを配布し参加して頂けるよう呼びかけをしています。
	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	○		保護者の方へマニュアルを配布し対応をお知らせしています。
非常時等の対応	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	○		
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	○		利用開始前にお子さんの状況を保護者の方に記入して頂き、個人ファイルで保管しています。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。		☐	アレルギーに対しての指示書を頂く対象者がいないので、今後対応していく。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	☐		ヒヤリハットをすぐに記録に残し、さらに職員間で情報共有しています。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	☐		研修で学んだ事やニュースで伝えられているニュースを話し合い職員間で共有しています。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	☐		身体拘束をしない方法を考えながらやむを得ない時の方法など会議などで話し合い全員で共有しています。

○この「事業所における自己評価表(公表)」は、事業所全体で行った自己評価表です。

保護者等向け

児童発達支援評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	☐				お集まりなどの静の動きは良いが動となると少し物足りないかもしれません。 先生方の工夫で楽しんでいる様です。
	② 職員の配置数は適切であるか。	☐				
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	☐				
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐				体調面なども配慮してもらい 楽しい活動をしていて子供も楽しんでいます。
業務改善	⑤ 子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が制作されているか。	☐				
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☐				
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	☐				一緒に考えてくださって家でも出来ることもあります。
	⑧ 活動プログラム固定化しないように工夫されているか。	☐				
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。	☐				・あまり利用をしていないため、わからない。 ・同年イベントなどの交流があり、 もっと参加したくなります。
適切な支援の提供	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	☐				
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の狙い及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	☐				
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか。	☐				

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解が出来ているか。	○				太陽の子での様子を教えていただき家でも気をつけてみたり、行動をスムーズに出来るやり方など参考にしています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言などの支援が行われているか。	○				
	⑮	父母の会の活動や支援、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。		○			どうということが支援なのか、父母の会などがない為。
	⑯	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	○				いつもすぐに対応していただいています。安心して預けられます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	○				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	○				
	⑲	個人情報の取扱に十分注意されているか。	○				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	○				
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。		○			参加していないため。 (あまり利用できないので)
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか。	○				毎回とっても楽しみにしています。 今日は誰がいるかななど朝からわくわくです。
	㉓	事業所の支援に満足しているか。	○				子どもも私も満足しています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」より事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。